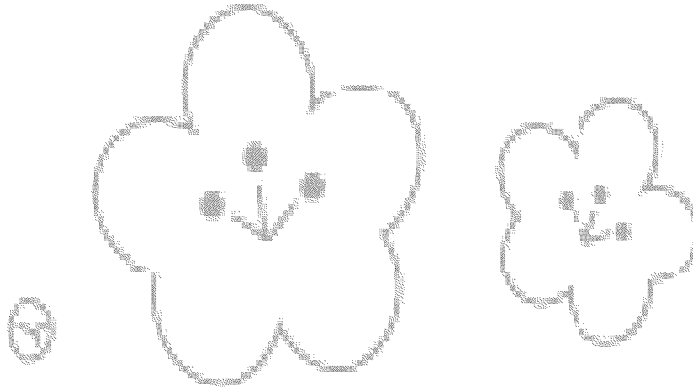


平成 30 年度

えりも町教育委員会の管理事務の執行状況に係る
点検及び評価について

報 告 書



平成 31 年 2 月

えりも町教育委員会

えりも町教育行政評価の概要について

1 教育行政評価制度の概要

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、効果的な教育行政の推進と住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が、

- ① 毎年
- ② 教育委員会の事務の管理執行状況について
- ③ 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ点検評価を行うこととし
- ④ 報告書を作成し議会に提出するとともに、公表しなければならないこと

が規定されました。

具体的な点検評価の項目については、各教育委員会が独自の判断で決定することとなります。

えりも町で 24 年度まで教育委員会事務局職員による内部評価を行い、議会に報告書を提出し、町ホームページで公表しておりましたが、平成 25 年度から、学識経験者等の評価委員による点検評価を実施することといたしました。

2 えりも町教育委員会の点検・評価の目的及び評価方法

(1) 目的

えりも町教育委員会は、法の趣旨に則り、各学校評価や事務事業の執行状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図ろうとするものです。

(2) 評価項目の設定

ア 学校評価

教育行政執行方針に基づく 30 年度の取組、その他重要と思われる内容

イ 教育委員会事務局の評価

教育行政執行方針や各課分掌事務等に基づく業務内容

3 点検・評価の手順

(1) 内部評価

学校教育課及び社会教育課職員において、その所管する評価項目について事業調書を作成し、内部評価を実施しました。

(2) 外部評価

学校関係者、社会教育関係者による外部評価を行いました。

※学校関係者：小・中・高の校長

※社会教育関係者：社会教育委員、スポーツ推進委員

(3) 評価委員評価

内部評価及び外部評価でまとめられた各評価項目について、評価委員3名による最終評価を行いました。

4 評価項目及び評価点

(1) 評価項目（詳細別掲）

ア 教育委員会評価(1)

教育行政執行方針の内容について

イ 教育委員会評価(2)

教育行政執行方針の内容について

ウ 教育委員会評価(3)

教育委員会職員の業務内容について

(2) 評価点

5段階評価としました。

- 1（十分でない）
- 2（やや十分といえない）
- 3（どちらとも言えない）
- 4（概ね十分である）
- 5（十分である）

基礎資料

□ 内部・外部評価の現状

□ 教育行政評価(1).

- 学校教育関係者

□ 教育行政評価(2)

- 社会教育関係者
- 事務局職員

□ 教育行政評価(3)

- 事務局職員

教育行政評価(1) 教育行政執行方針の学校教育の推進

No. 1

評価項目は、Ⅰ 学校教育の推進、Ⅱ 社会教育の推進、Ⅲ 事務局業務の推進 の3つの柱

評価 5:十分である。 4:概ね十分である。 3:どちらとも言えない。 2:やや十分といえない。 1:十分でない。

項目	No.	評価項目	グラフ	平均
I	1	経営の基盤(8つの危機管理)を見据え「チームえりも」で推進できたか		4.1
I	2	組織マネジメントと校内研修の活性化を図る学校組織を推進することができたか		4.1
I	3	児童生徒に育ってほしい資質・能力を明確にしたカリキュラム・マネジメントを立案し、推進することができたか		3.9
I	4	小・中共有の一貫した教育を目指す4つの授業改善策(未来えりも学)等の学校間連携・地域連携を図ることができたか		4.0
I	5	指導と評価の検証改善サイクルと児童生徒による授業評価等の学習評価を進めることができたか		3.7
I	6	授業と家庭学習の関連付けと放課後や長期休業中の学習サポート(未来えりも学)を進めることができたか		4.1
I	7	主体的・対話的で深い学びの授業改善を進めることができたか		3.7
I	8	数値目標を設定した諸テスト・準入学選抜試験等の実行を図ることができたか		4.4
I	9	実物投影機の教室常設と活用を図ることができたか		4.3
I	10	小・中・高の接続を図る総合的な学習(未来えりも学・植樹等)を進めることができたか		3.7
I	11	小学校の外国語活動と外国語、中学校の外国語(未来えりも学)を進めることができたか		3.7
I	12	校内道徳教育推進教師を中心とした学校体制の深化を図ることができたか		4.1
I	13	計画的・発展的な指導や保護者や地域と連携した道徳を推進することができたか		3.4
I	14	道徳的实践を身に付ける体験活動を実施することができたか		3.4
I	15	いじめアンケート調査の認知と教育相談・日常観察の徹底を図ることができたか		4.4

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも言えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

項目	No.	評価項目	グラフ	平均
I	16	小・中・高「いじめ根絶標語」(未来えりも学)や「生活リズムチェック」の推進を図ることができたか		4.6
I	17	「体力向上プラン」による1校1実践の継続を図ることができたか		4.3
I	18	新体カテストの全学年実施と方策強化を図ることができたか		4.4
I	19	フッ化物洗口等の虫歯予防策の継続を図ることができたか		4.3
I	20	アレルギー対策を進めることができたか		4.0
I	21	地域を位置付けた防災教育(未来えりも学)を進めることができたか		4.3
I	22	児童生徒支援や指導体制の確立を図ることができたか		3.9
I	23	個別支援検査等を踏まえた「個別の教育支援計画・指導計画」を立案することができたか		4.0
I	24	教育支援委員会や校種間の情報交換など、学校間・関係機関の行動連携を進めることができたか		3.6
I	25	幼・保と小学校の経営交流会を実施することができたか		3.7
I	26	道教委主催等の研修会への参加を推進することができたか		3.6
I	27	文部科学省と町単費の加配教員を生かした多様な教育課程の編成・実施(未来えりも学)を進めることができたか		3.9
I	28	英語検定や進学模試、商業検定の推奨を進めることができたか		4.1
I	29	進路実現を図るキャリア教育を進めることができたか		3.7
I	30	中・高教員の一層の連携や外部指導者の活用を図る部活動を進めることができたか		3.3

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも言えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

項目	No.	評価項目	グラフ	平均
I	31	きめ細かな生徒指導と家庭との連携を進めることができたか		3.3
I	32	海外研修(韓国)の評価を進めることができたか		3.4
I	33	海外研修では、安全を最重要視した際の選択肢の検討ができたか		3.6
I	34	海外研修では、安全性確保ができたか		3.4
I	35	「中高一貫教育講師」等による乗り入れ授業(未来えりも学)を進めることができたか		3.9
I	36	小・中・高生の「百人浜に学ぶ」植樹・剪定等の体験活動(未来えりも学)を進めることができたか		4.1
I	37	中・高が互いに学び合う部活動を進めることができたか		3.3
I	38	小・中・高の英語・漢字・数学検定(未来えりも学)を進めることができたか		4.0
I	39	高校3年生の小学6年生・中学生への進路講話などキャリア教育を進めることができたか		4.0
I	40	昆布や猿留山道等の地場産業や自然を生かした総合的な学習(未来えりも学)を進めることができたか		3.6
I	41	町教育研究会の研修に積極的に参加することができたか		4.4
I	42	「KTSの誓い」等の服務規律の継続徹底を図ることができたか		4.6
I	43	指導力の向上を図る研修を進めることができたか		4.0
I	44	地域と共にある学校行事や地域行事(未来えりも学)への参加を進めることができたか		4.1
I	45	「えりも型地域学校」を意識した学校評議員会を進めることができたか		3.6

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも言えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

項目	No.	評価項目	グラフ	平均
I	46	教職員の健康管理を意識した経営を進めることができたか		3.9
0	47	0		#####
0	48	0		#####
0	49	0		#####
0	50	0		#####
0	51	0		#####
0	52	0		#####
0	53	0		#####
0	54	0		#####
0	55	0		#####
0	56	0		#####
0	57	0		#####
0	58	0		#####
0	59	0		#####
0	60	0		#####

教育行政評価(2) 教育行政執行方針の社会教育の推進

No. 1

評価項目は、Ⅰ学校教育の推進、Ⅱ社会教育の推進、Ⅲ事務局業務の推進 の3つの柱

評価者は、社会教育委員(No.1~14)、スポーツ推進委員(15、16)、事務局職員(17~20)

評価 5:十分である。 4:概ね十分である。 3:どちらとも言えない。 2:やや十分といえない。 1:十分でない。

項目	No.	評価項目	グラフ	平均
Ⅱ	1	地域人材の掘り起こしと活用を図ることができたか		3.3
Ⅱ	2	まちづくり出前講座の充実を図ることができたか		3.2
Ⅱ	3	学校教育への継続的な支援を図ることができたか		3.4
Ⅱ	4	関係機関・団体との連携強化を図ることができたか		3.6
Ⅱ	5	教育委員会と地域住民が連携した多様な学びの機会の充実を図ることができたか		3.7
Ⅱ	6	生涯学習だよりの発行を進めることができたか		3.8
Ⅱ	7	各種団体・サークル活動の支援をすることができたか		3.9
Ⅱ	8	鑑賞型事業など、芸術文化に親しむ機会の充実を図ることができたか		3.9
Ⅱ	9	放課後児童クラブにおける施設運営の充実や環境整備を図ることができたか		4.1
Ⅱ	10	国史跡に指定された「猿留山道」の活用を図ることができたか		4.1
Ⅱ	11	町指定無形文化財「駒踊り」「襟裳神楽」の支援を図ることができたか		3.9
Ⅱ	12	町民と共同での自然調査・体験事業への支援を進めることができたか		3.8
Ⅱ	13	各種展示等による環境の整備を図ることができたか		3.7
Ⅱ	14	幼児や児童、町民など、児童書等の充実を図ることができたか		3.4
Ⅱ	15	かけっこ教室等のスポーツ教室や百人浜町民マラソンの実施を図ることができたか (町民マラソンは中止)		3.8

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも言えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

項目	No.	評価項目	グラフ	平均
II	16	スポーツ情報の提供を計画的に進めることができたか		3.8
III	17	相手意識、丁寧な対応を図ることができたか		4.0
III	18	早めの計画、レクチャーを継続して心がけることができたか		3.7
III	19	服装、言葉遣い、挨拶、電話対応等の接遇を気を付けることができたか		4.0
III	20	夜間業務22時以降の厳禁を図ることができたか		4.3
0	21	0		#####
0	22	0		#####
0	23	0		#####
0	24	0		#####
0	25	0		#####
0	26	0		#####
0	27	0		#####
0	28	0		#####
0	29	0		#####
0	30	0		#####

教育行政評価(3) 職員の事務局業務

評価項目 I 学校教育の推進 II 社会教育の推進 III 事務局業務の推進 の3つの柱
(共通No.1~4、学校教育課業務5~35、社会教育業務36~67)

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも言えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

項目	No.	評価項目	グラフ	平均
III	1	業務は、相手意識に立ち、丁寧にに対応することができたか		4.0
III	2	事業等の実施に当たっては、早めの計画、レクチャー等、積極的な姿勢で進めることができたか		3.7
III	3	服装、言葉遣い、挨拶、電話対応(名を名乗る)等、心地よい言動や接遇ができたか		4.0
III	4	夜間業務は「22時までとする」ことが守れたか		4.3
I	5	教育委員会会議の案内、議案書、会議録等に関する業務を適切に行うことができたか		4.1
I	6	学校職員の管理職試験、異動希望調書等の人事に関する業務を適切に事務処理することができたか		3.9
I	7	学校職員の争議行為、交通違反等処分、健康診断等の服務、福利厚生及び保健に関する業務を適切に行うことができたか		3.8
I	8	学校職員の配分旅費事務に関する旅費の執行等を迅速、適切に行うことができたか		3.9
I	9	学校教育関係に係る叙勲事務等の業務を適切に行うことができたか		3.8
I	10	学校施設、教員住宅の建設・管理の業務を適切に行うことができたか		3.5
I	11	奨学資金の受付・支出事務等に関する業務を迅速に行うことができたか		3.8
I	12	幼稚園の就園奨励補助金、振興奨励補助金事務に関する業務を適切に行うことができたか		3.9
I	13	文書の收受及び発送に関する業務を迅速に行うことができたか		4.0
I	14	地方教育費調査、高校通知事務等に関する業務を適切に行うことができたか		3.9
I	15	学校管理系の経理事務に関する業務を迅速、適切に行うことができたか		3.9

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも言えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
I	16	新入学児童事務、就学指導委員会事務等の学級編成、学齢者の就学及び転学業務を適切に行うことができたか		3.8
I	17	学校訪問、教育課程編成、時数集計事務等の学校訪問・教育課程の実施に関する業務を適切に行うことができたか		3.7
I	18	教科書採択事務、教材・理科備品購入事務等の教科書及び教育用備品に関する業務を適切に行うことができたか		3.8
I	19	要保護・準要保護事務、特別支援教育支援員等の教育扶助及び就学援助に関する業務を適切に行うことができたか		3.7
I	20	学校検診事務、フッ化物洗口事務等の児童生徒の保健衛生に関する業務を適切に行うことができたか		4.1
I	21	学級閉鎖、災害共済給付金事務等の児童生徒の安全対策に関する業務を適切に行うことができたか		3.9
I	22	生徒指導連絡協議会事務、重大事故報告事務等の児童生徒の指導及び非行防止対策・措置に関する業務を適切に行うことができたか		3.8
I	23	学校給食の施設管理・営繕、清掃業務委託等の安全対策、衛生管理に関する業務を適切に行うことができたか		3.8
I	24	学校職員の研修周知等の研修に関する業務を迅速、適切に行うことができたか		3.7
I	25	外国語指導助手の各種研修派遣、業務日程管理、賃金支出等に関する業務を適切に行うことができたか		3.9
I	26	学校教育系の経理事務に関する業務を迅速、適切に行うことができたか		3.9
I	27	学校職員勤務評定事務に関する業務を適切に行うことができたか		3.8
I	28	関係機関・団体の対応、学校評議員事務に関する業務を適切に行うことができたか		3.9
I	29	教職員辞令交付式、令達会議に関する業務を適切に行うことができたか		4.0
I	30	初任者研修等の各種研修及び時間講師事務に関する業務を適切に行うことができたか		3.7

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも言えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
I	31	教育向上対策委員会事務に関する業務を適切に行うことができたか		3.8
I	32	振興奨励補助金事務に関する業務を適切に行うことができたか		3.9
I	33	教育長動向調整に関する業務を適切に行うことができたか		3.9
I	34	学校職員等慶弔事務に関する業務を適切に行うことができたか		3.8
I	35	他課・係との調整に関する業務を適切に行うことができたか		3.7
II	36	社会教育委員の任免、委員会議等に関する業務を適切に行うことができたか		3.9
II	37	出前講座への指導者養成・発掘等に関する業務を推進することができたか		3.7
II	38	生涯学習まちづくり出前講座、まなびの広場等の生涯学習推進協議会に関する業務を推進することができたか		3.6
II	39	小中学校巡回小劇場公演業務、文化祭開催、文芸誌発行等に関する文化協会の業務を適切に行うことができたか		3.9
II	40	女性団体の連絡調整、各種会議、女性大会の事務処理等に関する業務を適切に行うことができたか		3.8
II	41	高齢者教室運営、スポーツ大会、教室生大会運営等に関する業務を適切に行うことができたか		4.1
II	42	日高管内社会教育職員研究協議会及び研修関係等に関する業務を適切に行うことができたか		4.1
II	43	社会教育系の経理事務に関する業務を迅速、適切に行うことができたか		3.9
II	44	青少年健全育成会の各種会議、体験活動事業、育成会運営等に関する業務を適切に行うことができたか		3.9
II	45	青少年の非行防止対策事業、非行補導、措置等に関する業務を適切に行うことができたか		3.9

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも言えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

要因	No.	評価項目	グラフ	平均
II	46	青年団体連盟に関する各種会議、事業等の業務を適切に行うことができたか		3.8
II	47	青年団体連絡協議会に関する視察研修等の業務を適切に行うことができたか		3.5
II	48	ジュニアリーダーコース、イングリッシュ・キャンプ等の派遣事業に関する業務を適切に行うことができたか		4.0
II	49	青少年及び団体の表彰に関する業務を適切に行うことができたか		3.6
II	50	「放課後児童クラブ」に関する管理・運営、経理等の業務を適切に行うことができたか		3.8
II	51	福祉センターロビーを活用して文化交流並びに文化情報の公開に関する業務を推進することができたか		3.9
II	52	児童劇鑑賞、幼児教育講演会等の幼児教育振興会に関する業務を推進することができたか		3.8
II	53	各PTAとの連絡調整、研究大会事務処理等の町PTA連合会に関する業務を推進することができたか		3.7
II	54	図書館の開設、活動の企画・運営、資料整理・管理等に関する業務を適切に行うことができたか		3.7
II	55	移動図書館巡回文庫、読書啓発活動等に関する読書活動推進の業務を適切に行うことができたか		3.9
II	56	図書館の研修関係や経理事務の業務を迅速、適切に行うことができたか		3.9
II	57	福祉センターの管理・運営、経理事務等の業務を適切に行うことができたか		3.7
II	58	文化財の保護、文化財調査委員の任免、会議の開催に関する業務を適切に行うことができたか		4.1
II	59	郷土資料の収集、保存、研究等に関する業務を適切に行うことができたか		3.9
II	60	町郷土芸能・えりも駒踊り・襟裳神楽保存会等の郷土芸能の伝承及び育成に関する業務を適切に行うことができたか		4.1

評価 5:十分である。4:概ね十分である。3:どちらとも言えない。2:やや十分といえない。1:十分でない。

項目	No.	評価項目	グラフ	平均
Ⅲ	61	スポーツ推進委員・地区スポーツ指導員の任免、会議等の業務を適切に行うことができたか		3.9
Ⅲ	62	町体育協会、スポーツ少年団本部等の体育、スポーツ及びレクリエーションの普及並びに指導援助に関する業務を適切に行うことができたか		3.9
Ⅲ	63	スポーツ功労表彰に関する業務を適切に行うことができたか		4.0
Ⅲ	64	スポーツ公園、町民体育館等の運営・管理、安全対策等の業務を適切に行うことができたか		4.1
Ⅲ	65	体育施設の有効利用に関する業務を推進することができたか		3.8
Ⅲ	66	スクールバス運行等に関する車両業務の調整、運行を迅速に行うことができたか		4.3
Ⅲ	67	車両に関する予算、修理等の執行を円滑に行うことができたか		4.1
0	68	0		#DIV/0!
0	69	0		#DIV/0!
# N / A	####	#N/A		#N/A
0	71	0		#DIV/0!
0	72	0		#DIV/0!
0	73	0		#DIV/0!
0	74	0		#DIV/0!
0	75	0		#DIV/0!

現 状 分 析

□ 内部・外部評価の現状分析

□ 教育行政評価(1)

- 学校教育の推進

□ 教育行政評価(2)

- 社会教育の推進

□ 教育行政評価(3)

- 事務局業務の推進

平成30年度教育行政評価（1） 学校教育

I 学校教育の推進 ※評価者は各学校長

	No.	分析	成果と課題
学 校 教 育 関 係 者		○高い評価	○成果 ・生徒指導と服務規律の危機管理について、各学校の取組の徹底が見られた。その結果、指導上の問題や服務違反がほとんどない結果となったこと ○課題 ・昨年度に比べると、「高い評価」については、全体的に低くなっていること ・「低い評価」については、逆に低くなっていること ・4段階に渡って評価に幅がある項目として、10（小中高の接続を図る総合的な学習）があり、来年度に向けて協議する必要があること
	16	・いじめ根絶標語、生活リズム（4.6）	
	42	・「KTSの誓い」署名・捺印・掲示（4.6）	
	8	・数値目標設定の諸テスト、準入学選抜（4.4）	
	15	・いじめアンケート調査、教育相談（4.4）	
	18	・新体力テストの全学年実施、方策強化（4.4）	
	9	・実物投影機の活用（4.3）	
	17	・体力向上プラン、1校1実践（4.3）	
	19	・フッ化物洗口（4.3）	
	21	・地域を位置付けた防災教育（4.3）	
		○低い評価	
	30	・中高一貫の連携や外部指導者等（3.3）	
	31	・きめ細かな生徒指導と家庭との連携（3.3）	
	37	・中高が互いに学び合う部活動（3.3）	
	13	・保護者、地域と連携した道徳（3.4）	
	14	・道徳と体験活動（3.4）	
	32	・海外研修の評価（3.4）	
	34	・海外研修の安全性確保（3.4）	

教育行政評価（２） 社会教育

Ⅱ 社会教育の推進 ※評価者は社会教育委員、スポーツ推進委員（15, 16のみ）

No.	分析	成果と課題
	社会教育にかかわる内容	
9 10	○高い評価 ・放課後児童クラブの運営等（4.1） ・猿留山道の活用（4.1）	○成果 ・放課後児童クラブの運営が軌道に乗って、円滑に進められてきたことがうかがえること
2 1 3 14	○低い評価 ・まちづくり出前講座（3.2） ・地域人材の掘り起し（3.3） ・学校教育への継続的な支援（3.4） ・児童書等の充実（3.4）	○課題 ・出前講座、地域人材の一層の活用では、例年低い評価となっていること ・平成31年度からスタートする「えりも型地域学校」と結び付けて充実を図ることが期待され
	○評価幅の大きい項目（4段階の評定） 2（まちづくり出前講座） 4（関係機関・団体との連携） 11（無形文化財への支援） 12（自然調査、体験事業への支援） 13（各種展示等の環境整備） 14（児童書等の充実） 15（スポーツ教室の実施） 16（スポーツ情報の提供）	
社会 教育 関係 者		

教育行政評価（3） 事務局業務

Ⅲ 事務局業務の推進 ※評価者は事務局員

	No.	分析	成果と課題
職員	4	<p>◆共通</p> <p>○高い評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間業務22時以降の厳禁（4.3） <p>○低い評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし 	
	10	<p>◆学校教育</p> <p>○高い評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・際だって高い評価はないが、概ね4前後となっていること <p>○低い評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設・教員住宅の建設・管理（3.5） 	<p>◆共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4（夜間業務）については、年々、意識の高揚がうかがわれること ・早めの計画・レクチャー等は、一層、心がけるよう期待したいこと ・共通の4項目は、職員全体で心がけることが身に付いてきていること <p>◆学校教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に評価が4前後となっていること ・学校施設、教員住宅については、多額の予算計上となるため、毎年、十分な対策が取れない状況であること
	66	<p>◆社会教育</p> <p>○高い評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの業務の調整、運行（4.3） <p>○低い評価</p>	<p>◆社会教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に評価が4前後となっていること ・青年団体活動については、近年、大きな課題となっており、今後も、教育行政が働きかけて進めていく必要があること
	47	<ul style="list-style-type: none"> ・青年団体協議会の視察研修等の業務（3.5） 	
		<p>○評価幅の大きい項目（4段階）</p> <ul style="list-style-type: none"> 4（夜間業務） 10（学校施設、教員住宅） 36（社会教育委員の任命、委員会議等の業務） 37（出前講座等の業務） 38（生涯学習推進協議会の業務） 47（青年団体連絡協議会の視察研修等の業務） 	<p>◆評価幅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度については、左記の項目について、評価の観点を示すなどして、より客観的な評価となるよう検討すること

総 括

□ 平成 30 年度教育行政評価にかかわる総括

- 評価結果
- 31 年度の方向性
- 評価

平成 31 年 1 月 24 日

平成 30 年度 えりも町教育行政評価にかかわる総括

えりも町教育委員会

1 評価結果

- ① 学校教育については、平成 30 年度教育行政執行方針を受けた各学校実施項目を着実に実施したことにより、概ね、学校の努力はもちろん、教育委員会と学校が一体となった結果として評価できる。

特に、いじめ根絶や「K T S の誓い」の服務規律にかかわる取組は、継続して取り組んだ結果として高く評価できる。また、当町の課題であった校舎内禁煙については、平成 25 年度から全校で取り組み、本年度からは校地内禁煙として位置付けた結果、各学校の状況に応じて P T A の主体的な活動として進められたことは、高く評価できる。

また、防災教育や学習サポート、体力向上の取組等、各学校が「チームえりも」で力を入れて進めてきていることも評価できる。

一方、小・中・高の連携や接続については、近年、小中連携が重視されていることから、具体的な取組を明確にして、推進していくことが強く求められる。

今後も、「えりもの子はえりもで育てる」基本理念を柱に、各学校、校種間が連携・接続を強くし、経営の深化を図っていくことを期待したい。

② 社会教育についても概ね評定が「4」前後の評定となっている。

特に、放課後児童クラブの評価と「猿留山道」の業務は、高い評価を得ている。

一方、出前講座や地域人材の活用等の指導者養成や発掘については、低い評価となっており、平成31年度からスタートする「えりも型地域学校」と結び付けて充実していくことが求められる。

③ 事務局業務については、全体的に概ね評価が「4」前後の評定

となっている。特に、共通の業務時間や接遇は、年々、職員の意識の高揚がうかがわれ、役場内の範となっているとともに、町民からも高く評価されている。

今後、一層、職員全体が課題意識をもって業務に専念することを期待したい。

2 31年度の方角性

① 平成30年度の教育行政評価を踏まえ、平成31年度の教育行政執行方針に生かすこととする。

- ② 平成 31 年度は「えりも型地域学校」を制度化することから、学校教育と社会教育が一層連携を図り、学校、地域、P T A、保護者の役割を明確化するとともに、分担して教育の推進に当たっていくことを期待したい。
- ③ 社会教育では、各種事業が地道ではあるが進められている。今後も、当町の自然や職種の特色を生かして、事業等に一層、工夫・改善を図ることが求められる。
- ④ 事務局では、現状の評価に甘んじることなく、一層、意識を高くして業務の遂行に当たることが求められる。

3 評価

本年度は、評価基準の共有化を図り評価を行ったが、今後も評価基準の格差が生まれぬよう、進めることが大切である。

意見

□ 教育行政評価委員の意見

- 学校教育、社会教育に係る評価項目
- 評価項目に関する意見

評価委員の意見

設問方式により、各評価委員から意見をいただきました。

- 1 学校教育、社会教育に係る評価項目について、小項目（教育行政執行方針 62、事務局 71 項目）を位置付けて評価を行いました。特に「重要、または気になる」と考える項目を1～3つまで番号で上げてください。

(1) 教育委員会評価(1) 【No.1～46】

重要項目：1、4、10、15、16、24、35、40、41

気になる小目：5、13、24、30（2名）、31（2名）、36、45

(2) 教育委員会評価(2) 【No.1～16】

重要項目：1（3名）、5、9、10、12（2名）、19

気になる小目：2（2名）、3、4、5、8、13、14、16

(3) 教育行政評価(3) 【No.1～67】

重要項目：2、3、10、17、27、31（2名）、38、54

気になる小目：10（2名）、17、35（2名）、38、41、51、54

- 2 評価項目で、お気づきの点がありましたら、ご意見ください。

* 昨年度までは、評価表だけを見て評価をしておりましたが、今年度は、全校の学校訪問に出席し、授業参観や各校の経営方針、学習指導計画など説明いただきました。

文書評価だけでなく、見聞したなかで、真の評価ができることに感謝いたします。

各学校とも、いろいろな教えやユニークな教え方があり感心させられ、自分も生徒の一員となった気分でした。

先生方の熱心な指導と、子どもたちを思う気持ちには感激しました。

その裏には、先生方の大変な努力と、膨大な時間を費やしていることを切に感じました。

えりも町学力向上実践交流会でも、各学校の先生方の真剣な討議と学習には、胸が熱くなる思いがしました。先生方は、これ以上できないというほど、一生懸命努力をしていると感じました。

えりも町の教育も、日々向上し、都会と変わらない教育環境にあると感じております。

加えて、「えりもならではの教育」もあり、とても喜ばしく感じております。

最後に、学校、教育委員会、保護者、地域との連携が、まだまだうまく機能していないのではないかと感じております。

車の四輪のように、同じ方向を見て、子ども一人一人の夢を乗せて進んでほしいと思いました。

- * 学習については、特に「家庭学習」の充実が、なかなか理解されていないのではないか。

学校内での取り組みが家庭でも同じ方向を向くように期待している。

特別支援教育に関する理解が、地域としても低く感じる。障がいのある人への理解も含めて情報発信等が必要だと感じる。

えりもの自然を活用した総合的な学習の時間のあり方について、お互いが理解して、もっと全校種の統一があっても良いのではないかと感じる。

- * 学校訪問をして：

どこの学校も、校内の美化、特に廊下に掲示されている生徒の作品等について、保護者や来校者に感銘されるものが多いと思われる。

いじめ問題については、アンケート調査、いじめ撲滅標語、人権教室等、学校あげていじめ根絶のために取り組んでいる。特に、「いじめ撲滅標語」は教育委員会だよりで町民に広く周知し、学校に掲示されるなど、生徒自らの戒めに大きな成果が期待され評価できる。

どこの学校の生徒も礼儀正しく、規律の順守、教職員の指導が行き届いている。

- * 授業参観をして：

各学年の授業を参観して、教科書、板書のほか、生徒に分かりやすく教えるため、手作りと思われる資料により説明を加えるなど工夫し、学力向上のため努力されていることに感心し、先生方の努力に評価できる。

公開研究会の道徳の時間では、新教科であるにも関わらず、先生自らが理解し生徒指導にあたっていることは、生徒の将来において大きな財産となると思われ、評価できる。

小・中・高、各学年の授業を参観し、どの学年の生徒も授業を受ける態度が立派であり、学校全体の規律指導が行き届いているように感じる。

- * スポーツの振興について：

スポーツにおいては、バレーボール少年団、えり高バレー部の活躍、柔道においては、全国大会に進むなど、全道・全国にえりも町の存在を一層広めた功績は高く評価できる。

- * えりも型地域学校研修会に参加して：

地域が必要とする人材は自分たちの手で育てる。「教育こそ未来の創造」「まちづくりは人づくりから」の講演内容を充分認識し、今後の教育活動の糧となることを期待すると共に、研修会開催の趣旨は大いに評価できる。